

遠藤 啓介

エンドウ ケイスケ/ENDO Keisuke



所属／職名

学芸調査室 学芸研究班／技術主査（学芸員）

専門分野

考古学

研究分野

東洋陶磁史・喫茶文化史

【業務・研究内容】

- 業務では考古学分野の展示を主に担当しております。旧石器から近世まで幅広く展示をいたしますが、好物は陶磁器全般です。
- 研究内容は中国などから入ってきた陶磁器（いわゆる貿易陶磁器）に関する研究で、そこから発展して中国陶磁器全般（漢代～清代）、朝鮮・東南アジア陶磁器にも興味関心があります。
- もとは東京の人間ですが、福岡に来て九州国立博物館、甘木歴史資料館で展示の経験を積み、近世の九州陶磁（唐津・伊万里・高取・上野・柳原など）や染織などの伝統工芸（甘木絞り・芦屋釜など）の勉強をはじめ、喫茶文化史にも挑戦しています。

【主要業績】

●主な論文・学会発表・著作物等

1. 遠藤啓介 2022「福岡の中世における喫茶の様相 ―那珂川市五ヶ山東小河内・網取遺跡から―」『茶の湯の歴史を問い直す』 筑摩書房
2. 遠藤啓介 2022「白磁経筒の生産窯に関する一考察」『人・墓・社会―日本考古学から東アジア考古学へ―』 土生田純之先生退職記念事業会
3. 遠藤啓介 2022「中世北部九州の喫茶の様相①福岡県筑前町砥上上林遺跡」『九州歴史資料館研究論集』47 九州歴史資料館
4. 遠藤啓介 2019「特論6 筑後の茶陶・柳原焼～有馬頼徳と陶工と～」『特別展久留米―その歴史と文化』 九州歴史資料館

●主な担当した展示等

1. 九州歴史資料館移転開館 10周年記念特別展「福岡の至宝に見る信仰と美」
2020年 九州歴史資料館にて
2. 九州国立博物館トピック展示「江戸のモダニズム 古武雄 まぼろしの九州のやきもの」2013年
3. 九州国立博物館特別展「日本のやきもの」2007年